

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月13日
【四半期会計期間】	第51期第2四半期（自平成25年7月1日至平成25年9月30日）
【会社名】	株式会社大真空
【英訳名】	DAISHINKU CORP.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 長谷川 宗平
【本店の所在の場所】	兵庫県加古川市平岡町新在家字鴻野1389番地
【電話番号】	(079) 426 - 3211 (代表)
【事務連絡者氏名】	取締役 管理本部副本部長兼管理部長 石井 孝利
【最寄りの連絡場所】	兵庫県加古川市平岡町新在家字鴻野1389番地
【電話番号】	(079) 426 - 3211 (代表)
【事務連絡者氏名】	取締役 管理本部副本部長兼管理部長 石井 孝利
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第50期 第2四半期連結 累計期間	第51期 第2四半期連結 累計期間	第50期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 9月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高(千円)	16,646,097	17,911,090	32,856,438
経常利益(千円)	361,404	747,947	1,420,887
四半期(当期)純利益(千円)	197,968	658,013	1,086,445
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	565,330	1,464,625	3,248,183
純資産額(千円)	30,719,463	35,686,713	34,443,831
総資産額(千円)	57,556,893	59,449,503	59,050,286
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	4.78	15.88	26.21
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	47.7	53.1	51.6
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	1,611,661	2,751,949	4,768,261
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	1,628,619	1,153,185	2,841,929
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	789,227	1,406,850	2,408,147
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	15,158,003	15,212,960	14,864,561

回次	第50期 第2四半期連結 会計期間	第51期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年 7月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 7月1日 至平成25年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額 () (円)	0.98	4.87

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額について、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第50期第2四半期連結累計期間、第50期連結会計年度及び第50期第2四半期連結会計期間の各数値については、遡及修正後の数値を記載しております。なお、詳細については「第4 経理の状況 注記事項 追加情報(在外子会社における中華民国国際会計基準の適用)」をご参照ください。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、在外子会社における中華民国国際会計基準を適用しております。前年同期比較にあたっては、遡及修正後の前年同期数値に基づき算出しております。詳細については、「第4 経理の状況 注記事項 追加情報」をご参照ください。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日～9月30日）におけるわが国経済は、円高の是正が進み、企業収益の改善や個人消費の増加なども見られ、穏やかな回復傾向で推移しました。世界経済におきましては、米国経済は個人消費が増加し、住宅市場や雇用環境に改善傾向が見られ穏やかな回復基調が続いておりますが、欧州経済は持ち直しの動きがあるものの低迷が継続しており、中国を中心としたアジアの経済成長は鈍化してまいりました。

ICT（情報通信技術）や自動車を含むエレクトロニクス市場におきましては、スマートフォンやタブレットPCの普及が進み生産は拡大しましたが、デジタル家電製品の生産低迷は継続しました。一方、エコカーの増加や電装化の進展などによりカーエレクトロニクスは堅調に推移しました。

このような環境の中、当社ではスマートフォンを中心とする通信機器市場やカーエレクトロニクス市場への販売に注力しました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は17,911百万円（前年同期比7.6%増）となり、営業利益は686百万円（前年同期比27.9%増）となりました。また、円高の是正が進み、為替差益139百万円を計上した結果、経常利益は747百万円（前年同期比107.0%増）、四半期純利益は658百万円（前年同期比232.4%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

日本

日本国内におきましては、AV機器向けやPC向けなどが前年を下回り、売上高は5,053百万円と前年同期と比べ1,250百万円（19.8%減）の減収となりましたが、前年に低下しておりました一部製品の稼働率が上昇し、セグメント利益（営業利益）は364百万円と前年同期と比べ296百万円（434.3%増）の増益となりました。

北米

北米におきましては、カーエレクトロニクス向けや住宅向けなどが前年を上回り、売上高は1,103百万円と前年同期と比べ292百万円（36.1%増）の増収となり、セグメント利益（営業利益）は43百万円と前年同期と比べ11百万円（35.1%増）の増益となりました。

欧州

欧州におきましては、カーエレクトロニクス向けを中心に前年を上回った結果、売上高は977百万円と前年同期と比べ261百万円（36.5%増）の増収となりましたが、セグメント利益（営業利益）は5百万円と前年同期と比べ2百万円（30.9%減）の減益となりました。

中国

中国におきましては、通信機器やカーエレクトロニクス向けなどの売上高が増加し、売上高は5,157百万円と前年同期と比べ1,213百万円（30.8%増）の増収となりました。また、セグメント利益（営業利益）も56百万円と前年同期と比べ3百万円（5.7%増）の増益となりました。

台湾

台湾におきましては、スマートフォンを中心とする通信機器向けの販売が増加し、売上高は4,595百万円と前年同期と比べ522百万円（12.8%増）の増収となりました。その結果、セグメント利益（営業利益）は232百万円と前年同期と比べ97百万円（72.0%増）の増益となりました。

アジア

その他アジアにおきましては、カーエレクトロニクス向けの販売が増加し、売上高は1,024百万円と前年同期と比べ224百万円（28.0%増）の増収となりましたが、生産子会社における賃金の上昇などにより、セグメント損失（営業損失）は18百万円と前年同期と比べ111百万円（前年同期はセグメント利益92百万円）の減益となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ348百万円増加し、15,212百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の営業活動の結果獲得した資金は2,751百万円（前年同四半期は1,611百万円の獲得）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益の増加及び減価償却費の計上などにより資金が増加したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の投資活動の結果使用した資金は1,153百万円（前年同四半期は1,628百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が増加したことなどによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の財務活動の結果使用した資金は1,406百万円（前年同四半期は789百万円の獲得）となりました。これは主に長期借入れ返済による支出が増加したことなどによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、937百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	130,000,000
計	130,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	45,246,212	45,246,212	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 1,000株
計	45,246,212	45,246,212	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	45,246,212	-	19,344,883	-	5,781,500

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
一般財団法人長谷川福祉会	神戸市中央区元町通6丁目3番20号	3,000	6.63
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2丁目7番1号	1,240	2.74
株式会社常陽銀行	茨城県水戸市南町2丁目5番5号	1,224	2.71
長谷川 宗平	兵庫県加古川市	1,217	2.69
第一生命保険株式会社	東京都千代田区有楽町1丁目13-1	1,016	2.25
大真空社員持株会	兵庫県加古川市平岡町新在家字鴻野1389	1,011	2.23
株式会社長谷川	兵庫県加古川市山手3丁目29番12号	800	1.77
大真空取引先持株会	兵庫県加古川市平岡町新在家1389番地	743	1.64
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	672	1.49
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内1丁目6番6号	668	1.48
計	-	11,592	25.62

(注) 上記のほか、自己株式が3,809千株あります。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 3,809,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 40,795,000	40,795	-
単元未満株式	普通株式 642,212	-	1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	45,246,212	-	-
総株主の議決権	-	40,795	-

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社大真空	兵庫県加古川市平岡町新 在家字鴻野1389番地	3,809,000	-	3,809,000	8.42
計	-	3,809,000	-	3,809,000	8.42

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、太陽A S G有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、従来から当社が監査証明を受けている霞が関監査法人は、平成25年10月1日付をもって太陽A S G有限責任監査法人と合併し、名称を太陽A S G有限責任監査法人に変更しております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,494,912	13,842,802
受取手形及び売掛金	8,783,656	9,046,054
有価証券	1,869,649	1,870,158
商品及び製品	2,799,529	2,725,646
仕掛品	3,141,322	3,343,031
原材料及び貯蔵品	2,385,992	2,247,596
繰延税金資産	198,252	340,531
その他	1,218,708	1,049,182
貸倒引当金	18,632	17,004
流動資産合計	33,873,390	34,447,999
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,157,060	4,996,471
機械装置及び運搬具(純額)	9,803,461	9,504,834
工具、器具及び備品(純額)	995,637	1,028,752
土地	5,693,036	5,719,673
建設仮勘定	1,485,835	1,527,846
有形固定資産合計	23,135,032	22,777,578
無形固定資産		
のれん	53,343	29,198
その他	165,247	180,223
無形固定資産合計	218,590	209,422
投資その他の資産		
投資有価証券	1,410,293	1,580,631
長期貸付金	316	148
繰延税金資産	52,226	59,244
その他	478,677	492,720
貸倒引当金	118,241	118,240
投資その他の資産合計	1,823,272	2,014,503
固定資産合計	25,176,895	25,001,504
資産合計	59,050,286	59,449,503

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,653,907	3,059,118
短期借入金	2,530,454	3,013,323
1年内返済予定の長期借入金	6,261,500	5,719,212
未払金	779,791	544,608
未払法人税等	327,663	80,345
賞与引当金	498,224	532,839
役員賞与引当金	-	7,500
その他	676,843	860,931
流動負債合計	13,728,385	13,817,879
固定負債		
長期借入金	8,059,859	7,186,496
繰延税金負債	531,194	599,832
退職給付引当金	1,847,270	1,803,902
長期未払金	309,739	218,327
資産除去債務	24,763	24,967
その他	105,241	111,382
固定負債合計	10,878,068	9,944,909
負債合計	24,606,454	23,762,789
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,344,883	19,344,883
資本剰余金	12,413,466	12,413,466
利益剰余金	878,200	1,370,418
自己株式	1,522,712	1,527,649
株主資本合計	31,113,838	31,601,119
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	90,328	202,788
為替換算調整勘定	745,738	251,159
その他の包括利益累計額合計	655,409	48,371
少数株主持分	3,985,403	4,133,965
純資産合計	34,443,831	35,686,713
負債純資産合計	59,050,286	59,449,503

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	16,646,097	17,911,090
売上原価	13,242,831	14,106,017
売上総利益	3,403,266	3,805,073
販売費及び一般管理費	2,866,433	3,118,471
営業利益	536,832	686,602
営業外収益		
受取利息	7,130	9,941
受取配当金	15,155	15,994
為替差益	-	139,561
受取保険金	148,552	5,810
補助金収入	88,088	-
その他	54,869	43,152
営業外収益合計	313,796	214,461
営業外費用		
支払利息	151,216	125,970
為替差損	311,590	-
その他	26,417	27,145
営業外費用合計	489,223	153,115
経常利益	361,404	747,947
特別利益		
固定資産売却益	1,799	1,978
減損損失戻入益	26,199	2,343
特別利益合計	27,998	4,322
特別損失		
固定資産売却損	355	6,368
固定資産除却損	9,846	15,373
投資有価証券評価損	51,773	-
過年度関税等支払額	-	74,442
特別損失合計	61,975	96,184
税金等調整前四半期純利益	327,428	656,085
法人税、住民税及び事業税	135,649	75,729
法人税等調整額	44,455	131,649
法人税等合計	91,193	55,920
少数株主損益調整前四半期純利益	236,234	712,005
少数株主利益	38,266	53,992
四半期純利益	197,968	658,013

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	236,234	712,005
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	78,735	112,459
為替換算調整勘定	722,829	640,160
その他の包括利益合計	801,565	752,619
四半期包括利益	565,330	1,464,625
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	419,699	1,265,052
少数株主に係る四半期包括利益	145,630	199,573

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	327,428	656,085
減価償却費	1,677,277	1,747,357
のれん償却額	24,497	25,909
貸倒引当金の増減額(は減少)	6,896	1,652
賞与引当金の増減額(は減少)	125,174	33,832
役員賞与引当金の増減額(は減少)	7,500	7,500
退職給付引当金の増減額(は減少)	11,771	59,261
受取利息及び受取配当金	22,285	25,936
支払利息	151,216	125,970
為替差損益(は益)	85,028	24,136
投資有価証券評価損益(は益)	51,773	-
有形固定資産売却損益(は益)	1,444	4,389
有形固定資産除却損	9,846	15,373
減損損失戻入益	26,199	2,343
受取保険金	148,552	5,810
売上債権の増減額(は増加)	679,995	75,768
たな卸資産の増減額(は増加)	203,814	273,264
仕入債務の増減額(は減少)	189,533	126,451
その他	84,308	187,400
小計	1,656,168	3,208,434
利息及び配当金の受取額	22,285	25,936
利息の支払額	149,519	133,524
法人税等の支払額	81,031	354,707
保険金の受取額	163,758	5,810
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,611,661	2,751,949
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	500,000	-
有形固定資産の取得による支出	1,106,399	1,169,650
有形固定資産の売却による収入	33,810	45,873
投資有価証券の取得による支出	83,474	3,911
貸付けによる支出	1,245	260
貸付金の回収による収入	1,028	562
その他	27,661	25,799
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,628,619	1,153,185
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	108,716	411,885
長期借入れによる収入	2,467,500	496,500
長期借入金の返済による支出	1,429,164	2,088,891
配当金の支払額	42,004	166,359
少数株主への配当金の支払額	97,826	55,048
自己株式の取得による支出	560	4,936
財務活動によるキャッシュ・フロー	789,227	1,406,850
現金及び現金同等物に係る換算差額	293,476	156,484
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	478,792	348,399
現金及び現金同等物の期首残高	14,679,211	14,864,561

現金及び現金同等物の四半期末残高	15,158,003	15,212,960
------------------	------------	------------

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、主に当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(在外子会社における中華民国国際会計基準の適用)

第1四半期連結会計期間より、連結子会社である加高電子股份有限公司の連結財務諸表につき、中華民国において平成25年1月1日以後開始する事業年度より中華民国株式市場での公開企業に対して中華民国国際会計基準が強制適用されることから、当該会計基準を適用した加高電子股份有限公司の連結財務諸表を基礎として、当社グループの連結財務諸表を作成しております。当該会計基準は遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

遡及適用を行う前と比較し、前第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益並びに1株当たり四半期(当期)純利益に与える影響は軽微であります。なお、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前連結会計年度の期首残高は108百万円増加しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形裏書譲渡高	73,817千円	55,864千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
役員報酬	97,673千円	106,695千円
給与手当及び福利厚生費	777,160	881,602
賞与引当金繰入額	98,719	99,139
役員賞与引当金繰入額	7,500	7,500
退職給付費用	34,667	30,009
研究開発費	910,257	937,801
減価償却費	36,149	32,745

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	13,789,011千円	13,842,802千円
現金及び現金同等物に該当する有価証券	1,868,992	1,870,158
預入期間が3か月を超える定期預金	500,000	500,000
現金及び現金同等物	15,158,003	15,212,960

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

(1)配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	41,454	1	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

(2)基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月12日 取締役会	普通株式	82,905	2	平成24年9月30日	平成24年12月4日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

(1)配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	165,795	4	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

(2)基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年11月13日 取締役会	普通株式	165,745	4	平成25年9月30日	平成25年12月3日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	北米 (注)3	欧州 (注)3	中国	台湾	アジア (注)3	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	6,303,135	810,934	715,624	3,943,295	4,072,625	800,483	16,646,097	-	16,646,097
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	5,771,328	13,500	-	2,363,100	612,698	2,169,787	10,930,414	10,930,414	-
計	12,074,463	824,434	715,624	6,306,395	4,685,324	2,970,270	27,576,512	10,930,414	16,646,097
セグメント利益	68,206	31,876	8,288	53,444	135,126	92,473	389,416	147,416	536,832

(注)1. セグメント利益(営業利益)の調整額147,416千円には、セグメント間取引消去91,971千円、のれんの償却額24,497千円、その他の調整額79,942千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 日本、中国、台湾以外の各セグメントに属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 北米.....米国

(2) 欧州.....ドイツ

(3) アジア.....インドネシア、シンガポール

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	北米 (注)3	欧州 (注)3	中国	台湾	アジア (注)3	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	5,053,067	1,103,322	977,116	5,157,129	4,595,605	1,024,848	17,911,090	-	17,911,090
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	7,604,879	13,160	2,703	2,351,030	774,468	2,343,543	13,089,786	13,089,786	-
計	12,657,946	1,116,483	979,820	7,508,160	5,370,074	3,368,392	31,000,876	13,089,786	17,911,090
セグメント利益 又は損失()	364,440	43,067	5,726	56,478	232,451	18,573	683,590	3,011	686,602

(注)1. セグメント利益(営業利益)の調整額3,011千円には、セグメント間取引消去88,169千円、のれんの償却額25,909千円、その他の調整額59,248千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 日本、中国、台湾以外の各セグメントに属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 北米.....米国

(2) 欧州.....ドイツ

(3) アジア.....インドネシア、シンガポール

4. 在外子会社における中華民国国際会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、連結子会社である加高電子股份有限公司の連結財務諸表につき、中華民国国際会計基準が強制適用されることから、当該会計基準を適用した加高電子股份有限公司の数値を基礎として、当社グループのセグメント情報を作成しております。当該会計基準は遡及され、前第2四半期連結累計期間については遡及適用後のセグメント情報となっております。

なお、これによる前第2四半期連結累計期間のセグメント情報に与える影響は軽微であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	4円78銭	15円88銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	197,968	658,013
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	197,968	658,013
普通株式の期中平均株式数(千株)	41,453	41,441

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額について、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成25年11月13日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....164,745千円

(ロ) 1株当たりの金額.....4円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成25年12月3日

(注) 平成25年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月13日

株式会社大真空

取締役会 御中

太陽 A S G 有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 森内 茂之 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 植田 益司 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 笹川 敏幸 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社大真空の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社大真空及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R L データ自体は含まれておりません。